

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 27 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県大牟田市  
新開町1番地

氏名 デンカ株式会社 大牟田工場  
[Redacted]

電話番号 0944-52-1063

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	デンカ株式会社 大牟田工場
事業場の所在地	福岡県大牟田市新開町1番地
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	資本金：36,998百万円
③ 従業員数	671名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付（表1）参照

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	別紙添付（表2）参照
---------	------------

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸
	排出量	13 t	414 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物
	排出量	206 t	0.01 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	
	排出量	17 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
特別管理産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
・ 工程の見直しによる発生抑制推進			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸
	排出量	11 t	352 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物
	排出量	175 t	0.009 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	
	排出量	15 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
・ 工程の見直しによる更なる発生抑制推進			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃油等の産業廃棄物と特別管理産業廃棄物の分別推進
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 更なる産業廃棄物と特別管理産業廃棄物の分別

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和 6年度）実績】		
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0 t
(これまでに実施した取組)				
・特になし				
		【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量		t	t
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)				
・特になし				

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸
①現状	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t	
	(これまでに実施した取組)		
	・特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

		【前年度（ 6年度）実績】		
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)				
・特になし				
		【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)				
・特になし				

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 ( 6 年度) 実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸		
	全 処 理 委 託 量	13 t	414 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	13 t	414 t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物		
	全 処 理 委 託 量	206 t	0.01 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	206 t	0.01 t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	(これまでに実施した取組)				
	・特になし				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	特管引火性廃油	特管廃酸		
	全 処 理 委 託 量	11 t	352 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	11 t	352 t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃アルカリ	特管感染性廃棄物		
	全 処 理 委 託 量	175 t	0.009 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	175 t	0.009 t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
	(今後実施する予定の取組)				
・特になし					

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 ( 6年度) 実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥			
	全 処 理 委 託 量	17	t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	17	t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0	t	t	
	特別管理産業廃棄物の種類				
	全 処 理 委 託 量		t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	(これまでに実施した取組)				
	・特になし				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥			
	全 処 理 委 託 量	15	t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	15	t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0	t	t	
	特別管理産業廃棄物の種類				
	全 処 理 委 託 量		t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	(今後実施する予定の取組)				
・特になし					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状	【前年度 ( 6年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（令和 6 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	650.01 t
	(今後実施する予定の取組等) ・電子マニフェスト加入済み ・対応処理業者との契約を締結している。	
※事務処理欄		